

東京都立若葉総合高等学校 平成29年度 教科:「数学」科目:「数学Ⅰ」 年間授業計画

教科:数学 科目:数学Ⅰ 単位数:3単位

対象学年組:(第1学年A組~F組)

教科担当者:(磯部:A, F)(松本:B, D)(今関:C, E)

使用教科書:(新編数学Ⅰ(数研出版))

使用教材:(3 TRIAL 数学Ⅰ+A(数研出版))

| | 指導内容 | 科目「数学Ⅰ」の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
|--------|------------|---|-----------------------------|----------|
| 4 月 | 整式の加法と減法 | 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 9 |
| 5 月 | 整式の乗法、因数分解 | 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |
| 6 月 | 1次不等式 | 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |
| 7 月 | 命題と条件 | 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 9 |
| 9 月 | 2次関数 | 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係やその変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できる陽にする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |

| | 指導内容 | 科目「数学Ⅰ」の具体的な指導目標 | 評価の観点・方法 | 予定 時数 |
|---------|------------|---|-----------------------------|----------|
| 10 月 | 2次関数、2次方程式 | 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係やその変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できる陽にする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |
| 11 月 | 2次不等式 | 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係やその変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できる陽にする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |
| 12 月 | 三角比 | 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 9 |
| 1 月 | 三角比 | 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |
| 2 月 | 三角形への応用 | 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 12 |
| 3 月 | データの分析 | 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 | 関・見・技・知 小テスト 定期考査 | 9 |